

平成 25 年 7 月 19 日(金)

特別経費プロジェクト拠点代表 征矢英昭 教授

所属:人間総合科学研究科

氏名:佐々木洋輔

## 第 29 回 BAMIS セミナー報告書

### I. セミナー概要

西保岳教授から Davide Filingeri 氏（英国ラフバラ大学 博士課程学生）の紹介と招聘の意義が紹介された。Davide Filingeri 氏が所属する、ラフバラ大学の George Havenith 博士の研究室は、各種環境ストレス（高温、低温）時におけるヒトの活動、生理反応、衣服開発に関する研究で有名であり、西保研究室と以前から国際学会や国際セミナーを通して親交があったことが説明された。講演に先立ち、渡邊和仁（筑波大学博士後期課程学生）、赤澤暢彦 博士（BAMIS 研究員）による研究発表が行われた。Davide Filingeri 氏は、「The Psychophysical bases of the perception of skin wetness（皮膚のウェットネス感覚の心理物理学的基盤）」のセミナータイトルで講演した。質疑応答では、皮膚のウェットネス感覚は競技歴やトレーニング、生活環境によって影響を受けるかについて発問が起こり、活発に議論された。

## II.開催概要

主 催:文部科学省特別経費プロジェクト

「たくましい心を育むスポーツ科学イノベーション」

筑波大学大学院人間総合科学研究 体育科学専攻・コーチング学専攻・スポーツ医学専攻、システム情報工学研究科、知能機能システム専攻

日 時: 平成 25 年 7 月 19 日(金) 16:00-17:30

場 所: 筑波大学体育科学系 A 棟 A507

講 師: Davide Filingeri 氏 (博士課程学生)

参加人数: 25 名

## III.講演概要

セミナータイトル: 「The Psychophysical bases of the perception of skin wetness (皮膚のウェットネス感覚の心理物理学的基盤)」

### ○講演内容

Davide Filingeri 氏は、「The Psychophysical bases of the perception of skin wetness」の演題で、ヒトの皮膚のウェットネス感覚の心理物理学的基盤について講演した。Davide Filingeri 氏は、これまで行ってきた研究結果の紹介を行い、ヒトが皮膚の熱感覚センサーから寒冷刺激によって間接的にウェットネスを感じ取る機序、ヒトの皮膚ウェットネス感覚に運動や環境温が及ぼす影響、皮膚の部位によるウェットネス感度の差、最大下強度の運動前または運動中にクーリングを行うことが生理パラメーター及び皮膚ウェットネス感覚に及ぼす影響等につい

て説明した。我々運動分野で研究する教員や学生の多くは、実験に際して必要となる心理物理的なパラメーターの測定方法や得られた結果の解釈、トレーニング及び運動現場に対する具体的な還元方法（衣服の工夫等）について高い関心を持って傾聴していた。

#### 渡邊和仁氏による研究発表



赤澤暢彦博士による研究発表



世話人の西保教授（左）と Davide Filingeri 氏（右）

